

安全データシート

1. 製品及び会社情報

①製品の名称	:ナルファルトWP-S
②会社名	:成瀬化学株式会社
③住所	:三重県亀山市関町木崎1703-3
④担当部門	:工場
⑤電話	:0595-96-1411
⑥FAX	:0595-96-0079
⑦緊急連絡先	:本社0595-97-8300
⑧推奨用途及び使用上の制限	:ローラー・ハケ・吹付け施工用塗膜防水
⑨作成・改定日	:2016年3月1日 2016年5月20日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
可燃性/引火性ガス	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
エアゾール	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
支燃性/酸化性ガス	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
高压ガス	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
引火性液体	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
可燃性固体	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
自己反応性化学品	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
自然発火性液体	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
自然発火性固体	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
自己発熱性化学品	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
水反応可燃性化学品	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
酸化性液体	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
酸化性固体	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
有機過酸化物	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
金属腐食性物質	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)

人健康有害性

急性毒性

経口	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
経皮	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
吸入 (ガス)	:分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
吸入 (蒸気)	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
吸入 (粉塵、ミスト)	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
皮膚腐食性/刺激性	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
感作性	
呼吸器	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
皮膚	:分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)

生殖細胞変異原性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
発がん性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
生殖毒性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
特定標識臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
水生環境	
急性有害性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
慢性有害性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)

GHS ラベル要素

この製品は、GHS 基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

有害性: 眼に入ると刺激がある。

環境影響: 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり茶褐色になる。

物理的及び化学的危険性: そのままの状態では燃焼しないが、製品乾燥物は可燃性である。

重要な徴候: 特になし

想定される非常事態の概要: 特になし

国/地域情報: 分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名または一般名	: エマルジョン防水材 (水性)
成分及び含有量	: アスファルト 40% 熱可塑性樹脂 10% 合成ゴム他 15% 水 35%
化学式又は構造式	: 特定できない
官報公示整理番号	: 該当なし
国連分類及び国連番号	: 該当なし
安衛法	: 該当なし
P R T R 法	: 該当なし

4. 応急措置

眼に入った場合	: 直ちに大量の清浄な流水で瞼の裏まで15分以上洗浄したのち、医師の手当を受ける。眼の損傷の後のコンタクトレンズの除去は熟練者により処置する。
皮膚に付着した場合	: 付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とし、外観に変化が見られたり痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
吸入した場合	: 水を分散媒とした揮発性の低い水性液体で吸入の可能性は少ない。万一気分が悪くなったときは、空気の新鮮な場所へ移動し、うがいし安静にする。

飲み込んだ場合 : 口腔を水洗し異常のある場合は医師の手当を受ける。
最も重要な徴候及び症状 : 特になし
応急措置をする者の保護 : 特になし
医師に対する特別な注意事項 : 特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : この製品自体は水を多量に含む為、そのままでは引火・発火等の燃焼性はない。万一、製品乾燥物に着火した場合は次の処置をとる。
水、炭酸ガス、ドライケミカル等一般消火剤。
使ってはならない消火剤 : 特になし
火災時の特有の危険有害性 : 特になし
特有の消火方法 : 製品乾燥物に着火した場合は、注水、水噴射、ドライケミカル等一般消火剤を使用し消火は風上から行う。
消火を行う者の保護 : 状況に応じて消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置
: 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する予防措置
: この製品は、河川、湖沼等に流出すると少量でも広範囲に渡って黒褐色化する。河川への排出等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。流入してしまった場合、流入した河川から飲料水を取水している場合、流れ去るまで取水を中止してもらう。
封じ込め及び浄化の方法・機材
: 大量の流出時には乾燥砂、土で囲い、流出を阻止する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
二次災害の防止策
: 湖沼、河川に大量に流出した場合、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁に届け出る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策: 気温5℃以上で取り扱う。
容器はその都度密栓をする。
屋上または換気の良い場所で取り扱う。
注意事項 : 本製品を取り扱う前に必ず、施工要領書、安全データシートを読むこと。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、眼に入らぬように適切な保護具を着用する。

保管

技術的対策: 容器を密閉して、気温5℃以上で直射日光の当たらない暗室に保管する。

水を多量に含む為、禁水性物質と同一場所での保管は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 設定されていない。
設備的対策	: 洗顔及び身体洗浄のための設備の設置が望ましい。
保護具 呼吸系の保護	: 誤飲防止マスクを着用することが望ましい。
眼の保護	: 保護めがねを着用する。
皮膚の保護	: ゴム、皮手袋を着用する。
その他の保護	: 特に必要ない。
適切な衛生対策	: 取り扱い後は汚染箇所をよく洗う。作業中の飲食、喫煙は行わない。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 黒褐色の水性エマルジョン
比重	: 1.2
pH	: 9 ± 1
臭い	: 僅かなアスファルト臭
引火点	: なし
発火点	: なし
爆発限界	上限: なし 下限: なし
可燃性	: なし
発火性 (自然発火性、水との反応性)	: なし
酸化性	: なし
自己反応性、爆発性	: なし
粉塵爆発	: なし
安定性	: 安定
反応性	: なし
その他	: 水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管、取扱条件で安定
危険有害反応可能性	: 通常の保管、取扱条件で安定
避けるべき条件	: 禁水性物質との同一場所での保管は避ける。
混蝕危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報 (製品として)

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: データなし
呼吸器又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原生	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：データなし
 特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：データなし
 吸引力呼吸器有害性：データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性 魚類：データなし
 甲殻類：データなし
 藻類：データなし
 残留性/分解性：データなし
 生体蓄積性：データなし
 土壌中の移動性：データなし
 オゾン層への有害性：データなし
 他の有害影響：漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川、排水溝に直接流れないように対処する。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取り扱いに関する情報

- ・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか委託すること。

汚染容器包装の廃棄方法

- ・使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類：分類基準に該当しない
 国連番号：分類基準に該当しない
 品名（国連輸送品名）：分類基準に該当しない
 容器等級：分類基準に該当しない
 海洋汚染物質：分類基準に該当しない
 MARPOL 品名：分類基準に該当しない

国内規制

適用法令を参照

特別の安全対策：特になし

輸送の特定の安全対策及び条件

- 共通：取扱い及び保管上の注意の記載に従うこと。容器に漏れが無いことを確め、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
- 海上輸送：船舶安全法の定めるところに従うこと。

